

(株) えふえむ草津 第66回 番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和3年11月22日(月) 18時30分～20時00分

2. 開催場所 草津アマカホール(文化教室1)

3. 委員の出欠 委員総数 5名 出席委員 5名

(出席委員) 岡本直輝 辻 信一 松田泰子 森 健蔵 松浦正樹

(欠席委員) なし

(放送事業者側出席者) 青木 均(代表取締役)
中辻睦規(事務局)

4. 議 題

(1) 近況報告

(2) 番組『KUSATSU FRONT LINE』について

(3) 訂正または取消し放送の実施状況

(4) その他



5. 議事の概要

(1) 近況報告

前回、報告させて頂きました9月7日以降の、主な取り組み等について、近況を報告させて頂きます。

まず、新型コロナウイルス感染症につきましては、去る9月30日で緊急事態宣言が解除され、それに伴い各種規制も解除され、以前の日常を取り戻しつつありますが、再度の感染拡大の恐れもあることから、今後ともえふえむ草津では、番組出演者・制作者・スタッフの安全確保に努めていきたいと考えております。

上期より放送しております定時番組や番組コーナーにつきましては、生放送または収録を行い、全て順調に放送させて頂いておりますし、下期における情報発信の新たな取り組みと致しましては、平日の午前8時から30分間、『KUSATSU FRONT LINE』を生放送でお届けするとともに、ごみ収集情報も新たにお送りしております。

緊急事態宣言解除に伴い、各種イベントや活動は再開されてきておりますが、例年ですと「大路区民まつり」や「クサツハロウィン」、「街あかり特番」といった“草津の秋”が楽しめるはずですが、これらは来年の楽しみとなってしまっております。

そういった中、先の東京オリンピックの金メダリスト、大橋選手の草津東高等学校訪問や、スポーツ大賞の表彰式、スタジオ前広場での草津まちづくり株式会社による「ゆめほんDAY」、講座の取材等を行わせて頂きましたし、10月23日の土曜日には、『MUSIC-WAKU-WAKU Radio Show』ということで、えふえむ草津の午後の音楽番組を担当しているアーティスト4組による、3時間特別番組を生放送でお届けしたところです。今後におきましても、市内で行われる事業やイベントについては、特別番組として積極的に放送していきたいと考えております。

そして、今日の報告の最後となりますが、毎月17日に行っております緊急割込み試験放送につきましては、9月はえふえむ草津が、10月は草津市が担当して行いましたし、Jアラート訓練放送につきましても、10月6日の午前11時から放送させて頂いたところです。

報告は以上のおりとなりますが、今後も、公共公益放送の充実を目指した取り組みや、一般の娯楽番組の拡大に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

(2) 番組『KUSATSU FRONT LINE』について

11月17日に放送した『KUSATSU FRONT LINE』について、15分程度に編集した音源を聞いた上で審議に入った。

(放送事業者)

『KUSATSU FRONT LINE』は、平日の朝8時から30分間の生放送番組で、10月から放送を開始した。パーソナリティは中辻睦規。通勤中の方をターゲットに、その日の天気や電車の運行情報、草津市や草津市コミュニティ事業団からのお知らせをお送りしている。

今回審議対象の11月17日放送の番組では「Community Voice (コミュニティ ボイス)」のコーナーを放送している。

水曜日に放送しているこのコーナーは、草津で活動する市民活動団体の活動内容を、メンバーの方に紹介頂いている。

今回は、笑いのエクササイズを通じて参加者にリフレッシュして頂く事を目的とする「くさつ笑いヨガ」の紹介である。

(番組に対する審議委員からの主な意見)

○パーソナリティの、語尾を伸ばす話し方を直してほしい。

→(放送事業者) 今後、トークパートでご指摘の部分を意識し、改善に努めたい。

○パーソナリティの声のトーンやスピード感が良い。

○「Community Voice」での紹介音源が、少しこもった感じで聞こえる。

→(放送事業者) 開始当初は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、スタジオでの収録でなく、団体側でスマートフォンを使って収録して頂き、局に音源をお送り頂く形をとっていた。スタジオ収録と比較し音質面で劣る事は否めないものの、聴いた上での内容の判別に問題はないと考えている。なお、感染が収まつつある現在はスタジオでの収録も行っている。

○平日毎日の放送で、ネタ集めが大変だと思うが、頑張っていて欲しい。

○地域のイベントや市内の学校で行われる特別授業や行事なども、取り上げてはどうか。

→(放送事業者) コロナの感染状況から、直接の取材が困難な状況が続いていたが、今後は積極的に取材に出向き、放送していきたい。

(3) 訂正または取消し放送の実施状況

特になし

(4) その他

(審議委員からの意見)

○オリンピック金メダリストの大橋選手へのインタビューのように、注目度の高い選手の声が電波に乗って流れる事は、市民の注目も高まり、良いことだと思う。

○インタビューや取材の際に撮影した写真をホームページに載せる際には、その方の肖像権に注意してもらいたい。

【議事録の公表方法】

- ①当社玄関カウンターに設置（12月1日～）
- ②当社ホームページへの掲載（12月1日～）
- ③12月1日 8：30～、番組審議会の内容を放送。